

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

大授戒會

対象：高校生以上一般
主催：県曹洞宗青年会
日程：10/17～10/21

第31回子供禅の集い

対象：小学校3～6年生
主催：仁叟寺・龍源寺
日程：7/30～7/31
※会場はいずれも仁叟寺

平成24年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/11 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7/30～7/31 第31回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/19～9/25 秋季彼岸会
- 10/17～10/21 群曹青50周年記念大授戒会
- 10/27 檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室

御本尊様釈迦三尊像、御帰山



↑ 本間先生ご夫妻 総代人ほか山内関係者にてお迎え ↑

去る4月2日（月）、約2年半ほどの間、修復に出られておられました本尊様・釈迦三尊像が、無事ご帰山いたしました。修復に当たられた佛教造形研究所の本間紀男教授ご夫妻ほか関係者が、当寺まで搬入。山内では、住職・前任職・副住職ほか総代人各位のお迎えのもと、修復の完成をお祝い申し上げます。本堂に安置されたのち、謹んで諷経し、参列者に香を薫じていただきました。

同修復作業は、長い年月を掛けて役員会等で審議し、3年ほど前に決定をいたしました。のち、修復前の木材等を工房のある山梨県にて祈禱し、本尊様搬出や、その間に留守を護っていただく旧本尊様・薬師如来立像の安置諷経等、沢山の行事を経て今回、見事に立派に修復されてのご帰山と相成りました。

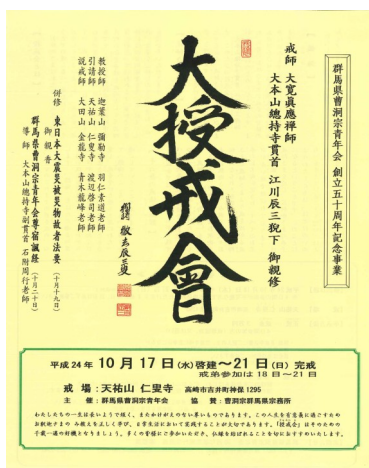
特に当山檀信徒始め多くの皆様方のご協力がなければ務める事の出来ない大事業でございました。改めまして、厚く御礼申し上げます。

なお、修復後の開眼会供養は、今秋9月に予定しております。全檀家ご参列の程、お願い申し上げます。

→ 無事帰山を祝い記念撮影



大授戒會法要にご参加下さい (戒弟募集中)



当寺報等でも何度もお伝えいたしております通り、今秋10月17日(水)～21日(日)に掛けまして、大授戒會が仁叟寺を会場として修行されます。戒師様は、曹洞宗大本山總持寺貫首・江川辰三禪師がお勤めになられます。ほか、教授師を曹洞宗参議であります羽仁素道迦葉山山主老師が、引請師を当山渡辺啓司仁叟寺住職が務める予定です。また、説戒師として青木龍峰金龍寺住職、青年会員物故者尊宿諷經導師を大本山總持寺副貫首・石附周行老師がお勤めになられます。

同行事は、群馬県曹洞宗青年会の創立50周年を祝賀し、計画をされました。是非、この貴重な法縁を結ぶ機会に、檀信徒を始めとする皆様方の参加を強く呼び掛ける次第です。檀信徒の皆様方に於かれましては同法要の詳細と申込書を配布いたします。参加申し込みは、仁叟寺まで、お願い申し上げます。

↑大授戒會ポスター

大般若法要報告～仁叟寺紹介映像～

本年の大般若会大施食会法要は、3月11日に修行いたしました。今年は特に東日本大震災の正当一周忌に当たる日でもあり、当山でも被災物故者各位の供養を併せて勤めました。

その法要に先立ちまして、本年の講師として迎えました、副住職友人のスティックアンドラダー(東京)社長棟梁の村上邦久氏によります講演をいたしました。氏は、卓越した技術を以て仁叟寺の紹介映像を1年半以上に亘り撮影しており、春夏秋冬折々の風景や行事等も全て記録に収めて下さっております。本年秋に完成を予定しておりますので、その際には檀信徒始め関係各位に頒布出来るよう計画しております。ご期待下さい。

同講演では、プロジェクターを使い仁叟寺紹介映像を写し、撮影に関する貴重なお話を賜りました。有難うございました。



↑講師・村上社長

仁叟寺探索26～華道教室～

今回の探索では、仁叟寺の華道教室をご紹介いたします。

仁叟寺華道教室は、月2回金曜日に行っております。指導は、住職夫人の渡辺恵津子(華号・恵菫)師範が二十年以上、務めております。流派は草月流で、恵津子師範のお師匠様は竹内政子(華号・星汀)師範で、只今、草月流群馬県支部長を務めておられます。

今春に、その弟子2名が新師範の免許を取得いたしました。草月流の新師範となった渡辺玲子(華号・玲菫)、渡辺実季(華号・実菫)は住職の長男及び次男の嫁であり、それぞれ龍源寺と信永院の寺族を務めております。ほか、同じくお弟子さんである松尾みさお(華号・美菫)師範は、高崎市勤労者美術展に於いて高崎市長賞を受賞する等、活躍されております。

なお、同華道教室は、現在も生徒を募集しております。関心のある方は、仁叟寺までお問い合わせ下さい。



↑草月流新師範位授与式

秋の参拝研修旅行にご参加下さい



毎年恒例の仁叟寺参拝研修旅行の旅程が決まりましたので、茲にご案内申し上げます。

本年は、今秋10月に大授戒會で戒師として曹洞宗大本山總持寺貫首・江川辰三禅師様が仁叟寺にご来山されます。また、大本山總持寺の副貫首は石附周行老師であり、仁叟寺の御本寺である渋川市雙林寺の御住職を勤められ、現在は神奈川県大雄山最乗寺の山主老師をお勤めになられております。その御礼も兼ね、今年の旅行では、大本山總持寺様のご拜登を予定しております。

↑ 曹洞宗大本山總持寺大祖堂
↓ 總持寺精進料理御膳



また、典座と呼ばれる修行僧が担当して作る御膳の精進料理を召し上がっていただき、ほか横浜鶴見の大本山のそばにあります平間寺様（川崎大師様）、帰路には東京巣鴨の高岩寺様（とげぬき地蔵尊様）など、参拝研修旅行に相応しい旅程を企画しております。

是非、沢山の皆様方のご参加をお願い申し上げます。なお、お申し込みやお問い合わせは、仁叟寺まで。

参拝研修旅行日程 10月27日（土）大本山總持寺様拜登ほか

自らを洲とする～東日本大震災被災地支援報告 五輪桜下に櫻花観音像を祀りました

桜の下で鎮魂祈る～高崎・仁叟寺観音像設置～

東日本大震災の犠牲者を供養するため、高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）の境内に「桜花観音像」が設置され、8日に開眼供養法要が営まれた。同寺は室町時代に吉井町奥平公田に創建され、1522（大永2）年に現在の場所に移ったと伝えられている。観音像は高さ60cmの青銅製。うっすらと笑みをたたえ、本堂裏の幹が5つに分かれた「五輪桜」（コヒガンザクラ）の脇に設置されている。

地元の名所となっている五輪桜は例年、3月中旬ごろ見頃を迎える。この時期に参詣する人も多いことから、「震災で散っていった尊い命を忘れないでほしい」（渡辺住職）と設置した。

今年は3月中の冷え込みにより五輪桜はやっと満開に近い状態。ピンク色の



↑ 櫻花観世音開眼会法要風景

の花が咲き誇る中で行われた法要で渡辺住職は観音像の前で経を上げた後、集まった檀家に観音像の名前の由来等を説明した。

法要は桜の開花の状態に加え、釈迦誕生会の「花祭り」

桜の下で鎮魂祈る

高崎仁叟寺 観音像設置

東日本大震災の犠牲者 観音像は高さ約60cmを供養するため、高の青銅製、うっすらと笑みをたたえ、本堂裏の幹が5つに分かれた「五輪桜」の脇に設置されている。今年3月中の冷え込みにより五輪桜はやっと満開に近い状態。ピンク色の花が咲き誇る中で行われた法要で渡辺住職は観音像の前で経を上げた後、集まった檀家に観音像の名前の由来などを説明した。

支援 暮らし

東日本大震災関連

9日の県内の空間放射線量			
モニタリングポスト、マイクロシーベルト/時	午後5時		前橋
測定地点	測定値	測定高さ	
県衛生環境研究所	0.025	21.8%	
くまもと子どもの国	0.047		
高崎市生涯学習センター	0.070		
道の駅 草津運動茶屋公園	0.075		
川場村武道館	0.067		
	0.157		

放射性物質

通常の範囲内

県が9日午後5時に測定した空気中の放射線量は、前橋で0.075マイクロシーベルト/時以下で、通常の範囲内であった。

法要はサクラの開花の状態に加え、釈迦誕生会の「花祭り」に合わせて行われた。

仁叟寺本堂工事中

本堂北側増設工事
上)工事前
下)工事後
→



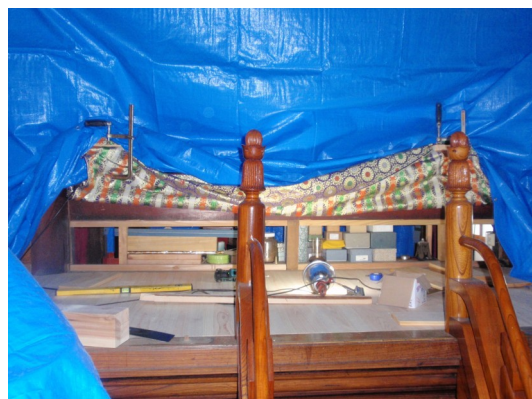
現在、仁叟寺本堂の工事を行っております。10月に予定しております大授戒會は、難値難遇

の大法要であり、多数の方々が見られます。その法会に向けて、本堂等の修繕作業を鋭意行っております。

本堂北側の増改築工事や、須彌壇の補強工事、達磨様及び大権様の台座工事等です。施工は、昨年の本堂耐震補強工事等でもお世話になりました渋川市白井の宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社（入内島秀男社長）に依頼いたしました。

諸々の工事は、6月中には完了する予定です。参拝や各諸行事などの折に、新しくなりました場所をご覧いただければ幸いです。

→本堂須彌壇補強工事



仁叟寺ボランティア紹介～矢嶋巖さん～



←竹林を整備する矢嶋様

仁叟寺檀信徒で現在、世話人を勤めていただいております矢嶋巖さんが、寺の北側の竹林整備作業を、一人黙々と奉仕でしていただいております。矢嶋巖さんは、会社経営をされながら、吉井町議会議員、のち高崎市議会議員を勤められ、当山はもとより地域の為に尽力されて参りました。

現在、仁叟寺の竹林の整備のほか、趣味の園芸等でも貴重な盆栽や鉢植えなど丹精込めた作品を持参され、仁叟寺檀信徒会館の入口玄関に飾らせていただいております。夏休みの子供禅の集いでも、参加された子供さんの為にと、自身で作成されたひょうたん細工を納めて下さっております。

長きに亘る氏の奉仕作業の数々、厚く感謝申し上げます。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

先日、梅花講でもお世話になっておられます檀信徒の井上あやめさんの歌碑除幕式法要を住職と共に勤めさせていただきました。井上女史は、大学の先輩でもあり世話人を務めております隆氏のご令室で、歌人として数々の賞を受賞され、歌集も数冊刊行されております。この度、縁ありて仁叟寺庭園欣正園内に、同女史の歌碑が建立されました。歌

碑には「仁叟寺の 竹林深く 山吹の 黄のまぶしも 八重のひともと あやめ」とあり、仁叟寺の竹林、そして山吹を詠んだ美しい歌が刻されております。（龍）

井上あやめ歌碑→

